(平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日まで)

平成 28 年 6 月 17 日（金）

2015 年(平成 27 年度)の総括報告

平成 27 年度も市民及び市民活動団体、自治会を中心とした地域活動団体に対して活動に関する相談・助言、地域づくり人材の育成を目的に事業活動を行った。組織や人をつなぐ中間支援組織としての役割を、事業活動を通じて行うとともに、新しい公共の目指す協働の理念を基に、「共に考え、共に創る」地域社会の推進に努めることができた。

3 年目を迎えた「ひらつか地域づくり市民大学」では、平塚市との協働事業として地域づくりの担い手の育成・地域づくりのコーディネーターの育成を目的に開催、延べ 171 名の方に受講いただき、地域づくりに主体的に取り組む方々が着実に増えてきていることを実感できた。また、付帯事業として行った座談会では、関心の高い取り組みを紹介したことで参加者から高い評価をいただいた。また、メディア事業活動でも高い評価をいただき充実した活動を行うことができた。メディア活動は単なる制作業務ではなく、相談を受ける中で団体の活動内容を丁寧に聞き、分析し、団体がより活性化できるよう助言し導くというプロセスを大切にしているが、それによって団体が目指す目的目標を明確にすることが出来る。一般的な抽象論的サポートではなく団体に寄り添いながら、後ろからついていく、そんな伴走型支援が信頼を得られている理由ではないかと考える。

一方では、学生の地域づくりへの参加を促し、神奈川大学や東海大学の学生との連携が進んだことは今後の事業に大いにつながる結果となった。

特定非営利活動に係る事業

（１）市民や市民活動団体及び地域活動団体の自立と連携を推進する事業

ア　市民活動・地域活動の相談及びコーディネート事業

・内　　容　　市民活動団体や地域活動団体の相談や援助の活動及びコーディネート
・日　　時　　随時
・場　　所　　平塚市内、平塚市吉沢公民館、他
・従事者人員　　５人
・対　象　者　　市民、市民活動団体、地域活動団体等
・支　出　額　　58,488 円

イ　交流会の開催

・内　　容　　市民活動団体や地域活動団体との交流・情報交換の場づくり
・日　　時　　6 月 5 日、12 月 15 日
・場　　所　　平塚市内
・従事者人員　　５人
・対　象　者　　市民、市民活動団体
・支　出　額　　55,636 円

ウ　平塚市との協働事業
・内　　容　　ひらつか地域づくり市民大学の開催（地域づくり人材の育成）
・日　　時　　7 月 25 日、8 月 22 日、9 月 12 日、10 月 17 日、10 月 31 日、11 月 7 日
・場　　所　　平塚市内
・従事者人員　　7 人
・対　象　者　　市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民
・支　出　額　　470,020 円

エ　市民活動に関する情報の収集と発信事業
・内　　容　　市民活動情報紙「LIAISON」の発行。市民活動に関する情報発信。
・日　　時　　通年
・場　　所　　平塚市内及び近隣市町村
・従事者人員　　5 人
・対　象　者　　市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民
・支　出　額　　23,502 円

（2）市民活動や地域活動及び地域社会の情報化やまちづくりの支援事業
ア　メディア事業
・内　　容　　市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等が発行するチラシやリーフレットの相談・制作。WEB サイト構築に関する相談と助言及び制作
・日　　時　　通年
・場　　所　　平塚市内及び近隣市町村
・従事者人員　　6 人
・対　象　者　　市民、市民活動団体、地域活動団体、事業者等
・支　出　額　　1,029,162 円

1．定例活動

●定例会及び理事会
平成 27 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31 日

定例会	理事会	定期総会
第 1 回　4 月 15 日	第 1 回　5 月 13 日	6 月 5 日
第 2 回　5 月 13 日	第 2 回　2 月 6 日	
第 3 回　9 月 2 日		
第 4 回　10 月 7 日		
第 5 回　11 月 8 日		
第 6 回　12 月 22 日		
第 7 回　2 月 10 日		
第 8 回　3 月 16 日		

●事業別会議

（１）平塚市との協働事業　ひらつか地域づくり市民大学

・毎月１回の定例会

事業の企画会議・進捗確認・運営に関する会議

・適宜

中長期的事業方針・目的・方向性に関する会議

（２）地域づくりサポーターズ会議

・毎月１回の定例会

ひらつか地域づくり市民大学の企画・運営に関する会議

元気地域づくり事例集発行に伴う取材・編集　適宜

（３）メディア事業会議

・適宜

２．事業の内容

ア　市民活動・地域活動の相談及びコーディネート事業

●市民活動団体や地域活動団体の相談や援助の活動は主に組織の立ち上げ、運営面での悩み、情報発信の方法や依頼、会計に関する相談など多岐にわたった。長く活動をしてこられた団体や新しく立ち上げた団体など、相談者も多様できめ細やかな対応が求められた。相談はメールや電話或いは SNS などからの依頼が主で、実際にお会いする日時を決めて対応するスタッフが出向く。解決にいたるまでには 2 回、3 回と継続して対応させていただいているが、丁寧に対応することで先方から信頼と安心感を持っていただいた。

●5 年目を迎えた「吉沢寺子屋」は、町内福祉村ひだまりの里の事業として地域の子どもたちがたくましく育ち豊かな社会性を身につけることを目的に、毎月第 2 月曜の放課後と第 4 土曜の午前中に開催し、①学習支援②遊びの提供③ゆめ広場との世代間交流を行っている。

①　、②は神奈川大学平塚地区ＢＢＳ会との連携によるもので、当会としてはブログの更新、活動のサポートなどを行った。立ち上げから関わり 5 年が経過する中でこの活動が地域にしっかり根付いてきたこと、新たな地域コミュニティが生まれたことは大きな成果である。1 月に行った新年交流会ではＯＢの学生含む 15 名が参加し、寺子屋の今後に期待することというワークショップを行い、今後につながる意見をもらうことができた。

●ひらつか地域づくり市民大学修了生による地域づくりサポーターズの主な活動

ひらつか地域づくり市民大学を受講された方々で結成した「地域づくりサポーターズ」（15 名）の皆さんに市民大学の企画・運営に関わっていただき、当日はファシリテーターとしてもご活躍いただいた。地域をもっと知りたい、自分の地域を良くしたいという思いを持ったメンバーと平塚市内の地域づくりの情報を交換しながら問題点を話し合っているが、この場が互いの成長に役立っているという意見をいただいている。

・「あの人と座談会」開催

日時	内容	受講者数
1 月 16 日(土)	松原地区の地域づくりの事例から ゲスト：猪朕　位さん	24 名
1 月 31 日(土)	やわた子ども村の事例から ゲスト：やわた子ども村　髙橋村長 事務局　田中さん　高橋さん	27 名

・市民大学修了生から要望の高かった「もっと踏み込んで学びたい事例」を座談会形式で 2 回開催した。

第 1 回目（1/16）は、松原地区元自治会連合会長、当時松原地区ネットワーク推進委員会会長の猪朕さんを迎え自治会長や自治会連合会長としての経験談を伺った。地域活動の経験の浅い人が重責を担うには大変なご苦労があったと思われるが、市民大学で得た知識を存分に活かすことが出来たと話された。

第 1 回座談会満足度（89.5）点 ／100 点

【参加者の声：抜粋】

大変勉強になりました。松原地区がどのように地域自治を保たれているのか知ることができました。地域のもつ期待や希望、また課題など生の声を伺えたと思います。他の地域の取り組みを知ることができて良かったです。

・「あの人と座談会」第 2 回目は、平塚市八幡地区で活動を始めて 10 年、「やわた子ども村」の高橋村長さんと、事務局長の田中さん、事務局の高橋さんの 3 名を迎え、立ち上げの経緯や子どもの居場所づくりについて詳しく伺った。子どもの居場所づくりは近年重要視されているが､やわた子ども村は先駆的な活動として注目されている。

座談会満足度（95.4）点 ／100 点

【参加者の声：抜粋】

立ち上げメンバーの方々の熱意が持続していることに敬服します。田中さんのお言葉の「価値観の違う人とどう生きるか」は胸にささりました。子ども村の根っこに脈うつ、こんな思いでこども村が運営され、そんな大人たちの生き方をリアルに学べる場でもあると感じました。他で真似できることではありませんが、なんと素敵な人たちなのか、こんな人に出あえて支えられて子ど

もたちも幸せですね。前回にも増して元気や勇気のわくお話でした。
※この事業はひらつか地域づくり市民大学を補完する意味で開催したが、予想以上の反響があり、受講生の地域づくりへの関心度を改めて実感した。今後はサポーターズが継続的な支援に取り組めるような体制づくりが必要ではないかと考える。

●「ひらつか元気地域づくり事例集」の発行に向け、平塚市内の主だった地域づくりを調査・研究し、冊子にまとめる。平成 28 年 6 月末発行を目指して活動中。

イ　交流会の開催

●市民活動団体の皆さんとの交流・情報交換の場としての交流会
本年は、6 月 5 日、12 月 15 日の 2 回開催。情報交換や交流を通して互いの理解を深めることができた。

ウ　平塚市との協働事業：ひらつか地域づくり市民大学の開催、地域人材の育成、コーディネート

●地域づくりの担い手の育成と地域づくりへの関心を高めていただくため、第 3 回ひらつか地域づくり市民大学を開催した。公開講座を含め延べ 171 名」の参加があった。

日時	回数	内容	受講者数
7 月 25 日（土）	公開講座	地域で共に考えるまちづくり　講師：斉藤進先生（産能大学情報マネジメント学部教授）	67
8 月 22 日（土）	第 1 回	地域の力でまちづくりを実践　講師：佐久間幹雄さん（泉区まちづくり未来塾塾長）	22
9 月 12 日（土）	第 2 回	まち歩きと地域づくりの取り組みから (1)松原地区を歩いてみよう	22
10 月 17 日（土）	第 3 回	まち歩きと地域づくりの取り組みから (2) やわた子ども村	19
10 月 31 日（土）	第 4 回	組織運営の肝をおさえる会議のやり方」と「場づくり」 ～団体としての「自治」を確立するために 講師：長田英史氏（NPO 法人れんげ舎代表理事）	24
11 月 7 日（土）	第 5 回	地域づくりの仲間をつくろう！（意見交換会）	17

本事業の「実施報告書」及び「ひらつか地域づくり市民大学 3 年間のメッセージ」を発行した。

エ　市民活動に関する情報の収集と発信事業

●昨年度まで市民活動を広く市民に周知するための情報発信のツールとして、市民と団体とをつなぐ市民活動情報紙「LIAISON」を発行してきたが、様々な年代に幅広く情報を発信するため、Web 版地域をつなぐ架け橋「LIAISON」に移行した。これまで河内川あじさいの会、ふじみ野ふれあいスポットなど、地域で活動している団体を取材し掲載した。

●ＷＥＢサイトを活用し会の活動の案内や、市民活動に関する情報を発信し、市民と団体、行政とのつながりをつくった。ＨＰ・ブログ・ＦＢを活用し事業の告知、活動報告などリアルタイムで発信した。

（２）市民活動や地域活動及び地域社会の情報化やまちづくりの支援事業

ア　メディア事業

●市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等が発行するチラシやリーフレットの作成、WEB サイト構築に関する相談と助言及び制作を行った。平塚市市民提案型協働事業「ひらつかスポーツナビ」 構築に向けた事業：平塚市スポーツ課と NPO 法人湘南ふじさわシニアネットとの協働の協力団体として参画した。この活動を通して市民、市民活動団体、地域活動団体の組織基盤強化と団体の自立に向けての後押しをすることができた。

実績：　桂川相模川流域協議会様、ふじみ野自治会様、八幡商店会様、
平塚市自治会連絡協議会様、四ノ宮自治会連合会様、
NPO 法人湘南ふじさわシニアネット様、
市議会議員様、市内事業者様　　他多数

〇情報誌・報告書など

〇動画撮影など

３．その他

ア.　協働事業の推進及び市民活動ファンド事業に関する諸手続きにおける市民活動団体への支援事業実施または実施予定の市民活動団体の相談（申請書の書き方、事業の進め方、他の助成制度紹介等 ）に対応しアドバイスした。また下記のイベントに参加し、相談対応に役立てるための情報収集に取り組んだ。

開催日	概要
平成 27 年 5 月 9 日	平塚市協働事業報告会
平成 27 年 6 月 13 日	平塚市協働事業意見交換会
平成 27 年 9 月 2 日	平塚市協働事業中間ヒヤリング
平成 27 年 10 月 3 日	平塚市協働事業公開プレゼンテーション
平成 27 年 10 月 23 日	平塚市協働事業事業化説明会
平成 28 年 3 月 26 日	ひらつか市民活動ファンド公開審査会

イ.　行政・他機関への委員会委嘱等の協力

以下の委嘱などの協力をおこなった。

平塚市市民活動推進委員会委員（年 3 回）
平塚市協働事業審査会（年 5 回）
綾瀬市市民活動応援補助金（きらめき補助金）選考委員会委員 (年 3 回)

ウ.　研修及び情報収集　以下の事業で情報収集及びスタッフ研修をおこなった。

平成 27 年 7 月 24 日	ＮＰＯと行政のフォーラム
平成 27 年 12 月 5 日	茅ヶ崎市協働推進事業公開プレゼンテーション
平成 28 年 3 月 9 日	企業と若者が共に仕掛けるまちづくり事業作戦会議
平成 28 年 3 月 23 日	神奈川県ボランタリー活動推進基金 21 事業成果報告会

４．組織体制

理事長	坂田　美保子	副理事長	氏家　真美
理事	坂本　著法	理事	打田　照純
理事	木村　美江子	理事	菅野　由美子
理事	横田　裕		
監事	打田　芳恵		
アドバイザー	鈴木　奏到		

〇正会員１３名

〇アドバイザー1 名

〇賛助会員１１名

特定非営利活動法人　湘南NPOサポートセンター

活　動　計　算　書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

単位：円

科目	金額		
Ⅰ経常収益			
１　受取会費			
正会員受取会費	51,000		
賛助会員受取会費	20,790		
		71,790	
２　受取寄付金			
受取寄付金	230,819		
協賛金	0		
		230,819	
３　受取助成金等			
福祉たすけあい基金	170,000		
		170,000	
４　事業収益			
平塚市協働事業	227,000		
上記に付随する事業収益	60,000		
自主事業収益	1,214,162		
		1,501,162	
５　その他収益			
受取利息	47		
雑収入	0	47	
経常収益計			1,973,818
Ⅱ経常費用			
１　事業費			
（1）人件費			
給与手当	830,378		
福利厚生費	11,568		
人件費計	841,946		
（2）その他経費			
事業経費	220,761		
業務委託費	427,223		
旅費交通費			
交流・研修費	107,756		
その他経費	39,122		
その他経費計	794,862		
経常費計		1,636,808	
２　管理費			
（1）人件費			
役員報酬	0		
旅費交通費	5,340		
人件費計	5,340		
（2）その他経費			
消耗品費	28,973		
通信費	28,257		
その他経費	51,459		
租税公課	70,000		
その他経費計	178,689		
管理費計		184,029	
経常費用計			1,820,837
当期正味財産増減額			152,981
前期繰越正味財産額			191,885
次期繰越正味財産額			344,866

書式第１５号（法第２８条関係）

貸借対照表

2016年　3月　31日現在

特定非営利活動法人　湘南NPOｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金預金	199,866		
未収金	145,000		
立て替え金			
流　動　資　産　合　計		344866	
２　固定資産			
(1)有形固定資産			
土地・建物	0		
車両運搬具	0		
有形固定資産計	0		
固　定　資　産　合　計		0	
資　産　合　計			344,866
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金			
短期借入金	0		
預り金	0		
流　動　負　債　合　計			
２　固定負債			
修繕引当金	0		
積立・準備金	0		
固　定　負　債　合　計		0	
負　債　合　計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		191,885	
当期正味財産増減額		152,981	
正味財産合計			344,866
負債及び正味財産合計			344,866